

---

## 演習Ⅱ

---

担当者 池田 潔

開講時期 通年

単 位 8

●講義の概要

研究計画に沿って逐一報告をしてもらう。また議論を重ねることで質の高い論文に完成させる。

●講義の到達目標

修士論文を作成するための個別指導を行う。修士論文のテーマ設定、必要な参考文献の設定、参考資料の利用方法等、論文として求められるルールを指導する。また議論を通じて質の高い論文としてまとめあげることが求められる。

●講義計画

毎回、研究の進捗状況を報告と成果を提出し、その内容について議論する。

●成績評価基準と方法

修士論文の評価に基づき判定する。

●テキスト又は参考文献

受講者のテーマに応じて適宜指示する。

●受講上の留意点

修士論文としての構成、結論などが明確になるよう、日常的に文章表現能力を養ってもらいたい。